

# 研究計画

## 1 研究主題

考えを伝え合い、学び合う楽しさを実感する学習活動の充実  
～言語活動を通して、考えを広げる、深める～

## 2 主題設定の理由

本校は、昨年度から全ての教科で、「子ども同士が意見をつなぎ学び合う授業」をめざし、授業改善に取り組んできた。しかし、自分の考えに自信がもてず、相手にうまく伝えられなかったり、説明する際に表現の仕方がわからずに困ったり、相手の考えを理解しながらも、そのことに対して自分の考えを付け足したり、広げたりすることができなかつたりと、子ども同士で「意見をつなぎ、学び合う授業」がなかなかできていないことが、引き続き課題となっている。

そこで、本年度は、「子ども同士が意見をつなぎ合う授業展開」ができるような授業を研究することとした。「自分の考えをもつ」「考えを伝え合う」を大切に、子どもの意見を中心に展開できる授業を通して、思考力・判断力・表現力を高める取組を進めていく。

研究主題については、昨年度の研究主題『ことばを大切に学び合う楽しさを実感する学習活動の充実』への取組で、ことばを大切にするという要素は引き続き継続しながら、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、昨年度の課題をもとに、更なる授業改善を図る。子どもの主体的な姿として、「決められたことを進んでするというだけでなく、自ら問題解決に向けてどうすべきかを考え、行動する姿」とする。そのことから、本年度の研究主題は、「考えを伝え合い、学び合う楽しさを実感する学習活動の充実」とし、基礎的・基本的な知識や技能を活用して自ら考えたり、考えたことを伝え合い、学び合うなかで、自分の考えを広げたり、深めたりする力を育成していく。そのために、教師主導になりがちな現状から脱却し、子ども達が自分の考えをしっかりと発言できる機会をつくり、その意見をつないで学び合う姿を引き出せるよう、それぞれの教科の授業で実践し、研究する。

そこで、サブテーマを【言語活動を通して、考えを伝え合い、深める】に設定した。子ども達同士で学び合うには、言語活動が大切となる。「話す」「読む」「書く」「聞く」活動を通して、相手の考えや意見と同じところ、異なるところを把握し、そこから自分の考えを見つめ直すことで、考えが広がり、深まることにつながるのではないかと考えた。

そのためには、子ども同士が話しやすい雰囲気をつくり、自分と違った意見なども、子ども同士で認め合うなど、温かな学級づくりを日頃から意識して取り組むことが大切である。子ども達の学習に向かう姿勢を高めるために、みんなで学び合い、解決する授業の展開ができるよう、「みんなで学習するのが楽しい」「いろいろな考えがあつておもしろい」と感じられる学級づくりに取り組む。指導者も、子どもとの関わりのなかで使う言葉を大切にし、子どもの思考を引き出したり、つないだり、受け止めて価値づけたりして、学び合う授業へ意識を高めていく。そのために、下記の研究内容にしっかりと取り組んでいきたい。

## 3 研究内容

### (1) 取組の充実

- ・考えをもち、書いたり聴いたりして、子ども達同士でつなげる授業
- ・子どもの「気づき」を大切にした授業
- ・他者の考えと比較し、自分の考えが広がったり深まったりする授業

### (2) 学び合いの場と思考力・判断力・表現力を育てる手立ての工夫

#### 【学び合いの前提として】

- ・学び合いの素地をつくる（自他を認め合う学級作りと「求める授業像」）
- ・ことばを大切にした授業づくり（話す・聴く・つなげる）
- ・子どもが追究したくなる課題設定の工夫（興味・関心を引く課題・多様な考えを引き出せる課題など）
- ・自分の考えをわかりやすく説明する工夫（根拠を明らかにできるように、ノートやワークシートを有効に活用）
- ・話し方・聞き方、話し合うためのスキルの獲得

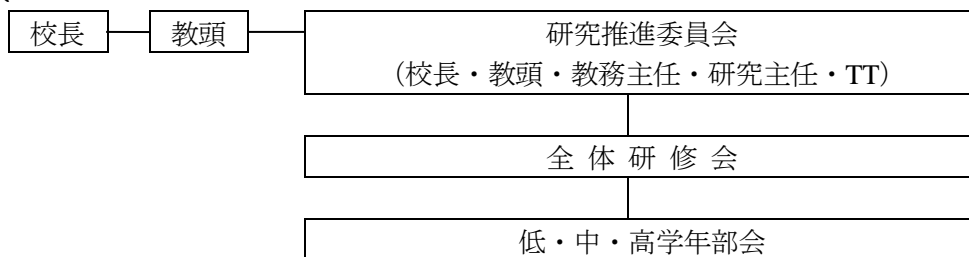
【学び合いを活性化するために】

- ・自力解決時における個別指導の工夫
- ・問題解決型（疑問をもつ・学び合う・考えを深める）
- ・子ども同士がつながり授業、学習形態の工夫（個人・ペア・グループ学習）
- ・本時のねらいにせまる考えの取り上げ方の工夫
- ・考える視点を明確にする発問や指示を行う
- ・教師が適切な場が出る（しゃべりすぎない・子どもからの発言を待つ→意見をつなげる）

【学びを確かめるために】

- ・1時間での学びの成果が実感できるたしかめ問題の工夫や個人の記録（授業記録）
- ・評価テストや到達度調査の分析による指導方法の改善
- ・学習指導と家庭学習のリンク（自主勉強の充実）

#### 4 研究組織



#### 5 研究方法

##### (1) 年間計画

月	内 容	月	内 容
4	教育計画の立案 全体研修（研究方法の確認・三部会からの提案）	10	自主勉強に向けて（1年生） 県学習到達度調査の実施（4・5年） 研究授業（体育専科）
5	自主勉強の充実（2年～6年） 全国学力学習状況調査の実施(6年)	11	学習アンケート調査および分析② 研究授業（4年）
6	研究授業（6年） 学習アンケート調査および分析①	12	研究授業（理科専科） 県学習到達度調査の分析（4・5年）
7	研究授業（2年） 公開授業（音楽・家庭専科）	1	研究授業（1年） 研究授業（5年） CRTの実施（全学年） 全体研修（反省と課題）
8	研究会・講習会に参加 夏季研修（三部会からの中間報告） 夏期研修（発達障害理解、九小の子と取組報告）	2	全体研修（学力分析・研究の成果と課題） CRTの結果からの学力補充 評価テスト（5年生）
9	研究授業（3年） 研究授業（おおぞらA・B）	3	研修（三部会からの報告・成果と課題） 研修のまとめ作成

##### (2) 研修方法

- ①全学年が研究授業を実施するとともに、実践交流を行う。
- ②研究会や講習会に積極的に参加する。
- ③学年部会で授業改善に向けて話し合い、教材研究を行う。

##### (3) 研修日

- ①原則として各週水曜日の午後、全校的な研修日をとる。
- ②部会別研究会と全体研修会を関連づけて行う。
- ③研究の手立てについては、研究推進委員会や学力向上部会で企画する。